

野菜類のうどんこ病、灰色かび病に!

ケミヘル®

水和剤

®はアグロ カネショウ(株)の登録商標

有効成分: 水酸化第二銅……………50.0% (銅として32.6%)
バチルスズブチリスD747株の生芽胞… 2.0×10^{10} CFU/g
毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

収穫前日まで
使えます。

クリンな音色を育めます。

効果は見えても、
カウントされない。

銅とバチルスズブチリス菌の
相乗効果



野菜類の うどんこ病、 灰色かび病に!

ケミヘル[®] 水和剤

有効成分：水酸化第二銅・・・50.0%（銅として32.6%）
 パチルス スズチリスD747株の生芽胞
 ……………2.0×10¹⁰CFU/g
 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

特長

- ▶ 生菌と天然の銅が有効成分なので、特別栽培において使用成分回数にカウントされません（実際の使用、生産物表示にあたっては、地方公共団体等の認証機関にお問い合わせください）。
- ▶ 有機農産物の日本規格（JAS）に適合した薬剤です。

- ▶ 収穫前日まで使用できます。
- ▶ 野菜類の灰色かび病、うどんこ病、トマト・ミニトマトの葉かび病、疫病に有効です。
- ▶ 果菜類に対する汚れが少なく、取扱いが容易な水和剤です。

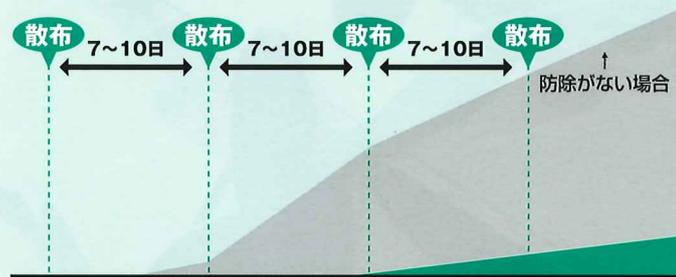
適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数	パチルス スズチリスを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	葉かび病	1000~2000倍	100~300g /10a	収穫前日まで	—	散布	—	—
	疫病、すすかび病	1000倍						
きゅうり	べと病、褐斑病							
	斑点細菌病	2000倍						
野菜類	灰色かび病	1000倍						
	うどんこ病	1000~2000倍						
にんじん	黒葉枯病	1000倍						

平成28年3月現在

上手な使い方

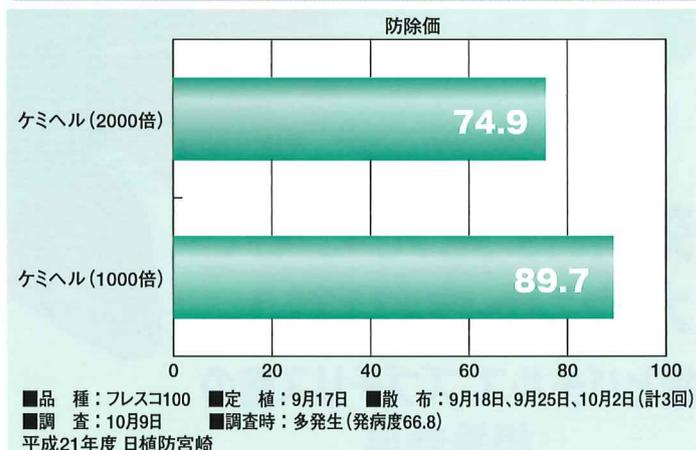
■ 予防散布を心がけてください。



病害の発生活消長

（図はイメージを示しています。）

きゅうりのうどんこ病に対する効果



⚠ 使用上の注意事項

- 有効成分の一つは生菌ですので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 他剤との混用は効果が劣る場合があるので、注意してください。
- 予防的効果が主体なので、発病前～発病初期に7日～10日間隔で散布してください。
- 低温条件下では有効成分の活動が低下し効果が出にくいので、10℃以上が確保できる条件で使用してください。
- にんにくに使用の場合は薬害を生じることがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用することをお勧めします。
- いんげんまめに使用する場合、幼苗期および高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるのでご注意ください。
- きゅうり、はくさい、キャベツ、だいこんに対しては薬害を生じやすいので、次の事項に十分注意してください。
 - ・ 幼苗期は特に薬害が生じやすいので、中期以降の散布としてください。

⚠ 安全使用上の注意



- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布液調製時および散布の際は、保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 高温時には症状が激しくなるので散布はさけてください。
- きゅうりの場合は連続散布すると葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので過度の連用はさけてください。
- はくさい、キャベツ、だいこんに使用する場合は、薬害軽減のために炭酸カルシウム水和剤を加用してください。なお、収穫間際には汚れを生じるので、留意してください。
- アスパラガスに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 魚毒性・・・使用残りの薬液が生じないように調製をおこない、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保 管・・・密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。